



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

「ネナシカズラ」に学ぶ！

9月1日始業式。子供たちに伝えたことを紹介いたします。

(スクリーンの) 緑色の別の植物に巻き付いている白い植物は何？

「ネナシカズラ」と言います。この植物は、他の植物とどこがちがうでしょうか？葉がない。根がない。光合成をしない。「ネナシ（根無し）」というくらいですから、根がないのかなって思いますね。根がないのに、なぜ生きていけるのでしょうか？実は、このネナシカズラは地面ではなく他の植物の茎に食い込ませる特別な根を持っているのです。つまり、栄養を他の植物から吸い取って生きています。土の中に伸びる根がないので、「ネナシ（根無し）」に見えるのです。しかし、ネナシカズラに狙われて栄養を吸い取られる植物はたまったものではありませんね。このようなネナシカズラの生き方をどう思いますか・・・？

しかし、ネナシカズラの立場に立つとこんな苦勞が……。根を食い込ませた植物が弱って枯れてしまえば、ネナシカズラもいっしょに枯れてしまうしかない。近くに他の植物がなくなると、ネナシカズラ同士で絡み合い共食いになる。毎年同じ場所で生きていける保証はない。

一見、楽（らく）そうなネナシカズラの生活ですが、実は大変。生きるために必死。他の植物を自分の栄養にして生きる植物としてこの世に生まれてきたネナシカズラに罪はない。ネナシカズラはネナシカズラとしての命を精一杯生きようとしている。そんなネナシカズラの生き方から、私も授かった自分の命を人間らしく精一杯生きなければならぬと改めて強く思いました。

また、ネナシカズラはゾウムシという昆虫にとっては大好物の植物だったり、人間にとっては、疲労回復の薬として使われたりしているそうです。実はこんなよさを持つネナシカズラなのに、他の植物を自分の栄養にして生きるどころばかりに自分は目が向いていたのではないだろうか？

1学期の終わりに皆さんに紹介した絵本『ええところ』の中で、「わたしって、ええところ ひとつもないなあ。」というあいちゃんに、あいちゃんの「ええところ」は、手のあたたかさだと言いつつ、手をにぎったともちゃん。「わたしの『ええところ』を いっしょうけんめい 見つけてくれた ともちゃんが いちばん やさしいんや。」と思って、ほかの友達の「ええところ」を見つけられる自分になると決心したあいちゃん。そのことが思い出されます。

だれにでも必ずよさがある。ネナシカズラにもありました。だれにでもあるよさを見つけられる、認めてあげられる自分にならなければいけないとこれもまた改めて強く思いました。

- 自分の命を精一杯生きる
- まわりのみんなのよさを見つけられる、認められる自分になる

そんな2学期にしましょう。



ネナシカズラ